



注目!!

わが社の家づくり



No.285

株式会社 高田建築事務所 (新潟県長岡市)

“千人鮮色”をコンセプトに 住まいへの想い、プロセスを大切に

一人ひとりの住まいへの想いを大切に、こだわりを持つ家づくりのニーズに応える。注文住宅、リフォーム、まちづくりと、感動や高揚感を与える住まいづくりを続ける。



長岡市

私たちが一番大切にしている言葉は「千人鮮色」という言葉です。十人十色と言われますが、千人いれば千色あります。色とは形。それぞれの住まいへの想いを鮮やかな色で彩りたいと考えています。

一人ひとり、お客様のニーズは違います。私たちがつくっているのは住まいというモノだけではありません。言葉や期待を超えた形ができた時の感動や高揚感などの感情をつくっていると思っています。

お施主様の想いを引き出す一つの方法が「放題紙」です。夢や想いなどを書きたい放題書いていただく。その人「らしさ」を形にするため、ご家族みんなに書いていただくのですが、打ち合わせなどをせず好き放題書くのがルール。矛盾していても良いのです。例えば、一つには「広い家がいいな」とあり、もう一つには「狭い家がほしい」と書いてある。理由を聞くと「広い家」には解放感というニーズがある。それならば、たとえコンパクトな家であっても外の景色をうまく取り込むことで解放感のある住まいを提案することができます。

放題紙はきつかけづくり。そこからニーズを探り、形にしていく。ですから聞く力、寄り添う力が非常に重要となります。それがあつたうえで、私たちの知見や技術を通しての提案をプランにしていきます。

ガレージ付きや中庭付、景色を取り入れる、ペットと暮らす家など、それこそお客様一人ひとりの想いを形にしてみました。



営業所それぞれに築縁会をつくり、イベントなどを実施してきました。例えば、長岡では築5年の築縁様に毎年2月の第一土日に、協力業者とスタッフが一緒に訪問します。コミュニケーションを取ることで、私たちも、築縁様も何かあった時に声をかけやすい。今はコロナ禍で中断していますが、20年近く続けてきました。

築縁様だけでなく、地域とのつながりも大切にしています。例えば、タカモクで出た廃材を活用し、地元の小中学生や町内のこども会を対象とする工作教室を行っています。



廃材を活用した地元小学校の授業風景

千人鮮色をさらに深め 価値を高める

今後は、それぞれの事業を「千人鮮色」のコンセプトに基づき、スキル、耐力、気力、粘りを磨いて、もつと深めていきたいと考えています。現在、注文住宅は年間70棟前後受注していますが、ことさら規模を拡大していこうとは考えていません。

住宅にこだわりの少ないお客様も増えていますが、私たちは多様化するお客様のなかでも「千人鮮色」に共感いただける方々に向けて情報発信を行い、ご相談いただける方々に十分に伝えられるようにしていきたい。また、ストック分野については、現在2900件程度の築縁様を大事にし、リフォームなどに継続的につなげ、千人鮮色のサイクルのなかでの価値を高めていきたいと考えています。

プレカット、不動産など グループでサイクルを回す

高田建築事務所では、リフォーム研究所「ラボ」という拠点を新潟市に設けリフォーム事業を展開するほか、病院や幼稚園、保育園、店舗といった一般建築の設計管理も行っています。リフォームは新築同様のコンセプト「千人鮮色」のもと、住まいに対する想いやプロセスを大事にしています。部分的なリフォームから骨組みだけ残してやり替える大規模なものまで広く手掛けています。

このほかグループ会社にプレカット工場と不動産会社を持ちます。長岡本社の同じ敷地内にあるタカモクでは木材のプレカット加工を行っています。実は、旧社名を高田材木店といい、もともとは製材会社。高田建築事務所は



株式会社 高田建築事務所
代表取締役

高田 清之介

〒940-1105
新潟県長岡市撰田屋5-6-22
TEL:0258-36-1230
<https://www.takada-arc.com>

人・モノ・本など 影響を受けたものはありますか？

アルヴァ・アアルト。学生の時に訪れた、一連の図書館建築に感銘を受けました。北欧という冬は限られた日照時間のなかでも、トップライトと間接照明をあわせた穏やかな明るさの空間が雪国育ちの私としては親近感を覚えました。実際に訪れると、写真には写らない空間の密度のような温もりを感じ、居心地の良さ、やさしさを感じることができました。

建築業界を担う若者に メッセージをお願いします

衣・食・住という生活のベースに係る仕事、提案を通してお客様にダイレクトに喜んでいただけるやりがいのある仕事です。ものをつくっていることに同時に高揚感をつくっていると考えています。建物が残り続けることは景観をつくっていくことでもあり、一棟の住宅を建てた時、ご近所さんから「町が明るくなった」と言われたことが、とてもうれしい思い出です。

築縁様を大切に 地域とのつながりも

私たちは、お引き渡し後のOB顧客のことを「築縁様」と呼びびします。長岡本社、新潟ここから生まれました。複雑な形が求められる住宅が少なくないことから、社員大工が墨出しして手刻みも行っていきます。

フォレス・タカダは不動産の売買や賃貸管理のほか、まちづくりを手掛けています。明確なコンセプトやテーマを持つまちづくりが特徴です。例えば、人々と自然と歴史が共生するサステイナブルなまち「リブチの森」(長岡市)は、全48区画の建築条件付き分譲です。2本の川にはさまれた水に親しみのある地域特性を生かし、まちの中に水門柱を置き、定期的になると地下水がちょろちょろと流れ、居住者が果物を冷やしたりしています。まちのなかの道路はわざとくねらせ、車がスピードを出せないだけでなく、まちに1/f揺らぎのある居心地の良い空間を作り出しました。また、住宅だけではなく店舗や福祉施設も入っています。

もちろん新築のお施主様から土地を探してほしいといわれることもありますし、打ち合わせ段階で空き家となる家を処分したいという相談を受けることもあります。

高田建築事務所は、グループ会社とともに、借りる、中古住宅を買う、新築する、家売る、空き家を活用する、そんな千人鮮色サイクルをぐるぐる回していきたいと考えています。